

## 2. 兵庫県市川町での観察・採集

採集場所は兵庫県市川町屋形にある播但連絡道路市川パーキングエリア内である。2020年3月13日午後9時20分頃同所を訪れたところ、壁にチャオビトビモンエダシャクがいるのを見つけた。その時の生態写真とその展翅写真が図2および3である。

本種の出現時期は大図鑑では春、ネットを検索すると5月となっているが、筆者はいずれも3月の中旬に観察している。宇野の報告でも採集日は3月8日と3月20日であり、本種の発生は3月の早春からと思われる。

### ○参考文献

- 井上寛他, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社  
 宇野宏樹, 2019. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録I. きべりはむし, 42(2): 32-39.

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



図1 市川町のエグリキリガの生態写真。



図2 市川町のエグリキリガ (開張 26mm)。

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)

## エグリキリガを兵庫県市川町で採集

高橋輝男

エグリキリガ (*Teratoglaea pacifica*) はヤガ科ヨトウガ亜科のガであり、その分布域は大図鑑(井上他, 1982)によると北海道から九州まで本土域に産地が分散しやや高地に産するとなっている。高島(2001)によると、本県においては三日月町での採集例が唯一となっている。筆者はエグリキリガを2020年3月30日に兵庫県神崎郡市川町で採集したのでここに報告する。

採集場所は兵庫県神崎郡市川町屋形の播但連絡道路市川パーキングエリア内である。2020年3月30日午後10時頃、当該施設のコンクリート地面にいるのを見つけた。その時の生態写真と展翅写真がそれぞれ図1および2である。

エグリキリガの特徴は前翅の翅型である。翅頂付近で前縁部が1/3にわたって浅くえぐられ、外縁も翅頂の直下で内方に湾入する。今回の採取場所は標高約110mの地点であり、他の報告にあるような高地ではない。食草はマツ科のアカトドマツとされているが付近の山にそれが自生しているかは不明である。

### ○参考文献

- 井上寛他, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社  
 高島 昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科(兵庫県産蛾類分布資料・20). きべりはむし, 29(1): 34-49.

## 兵庫県姫路市山田町でキイロトゲエダシャクを採集

高橋輝男

キイロトゲエダシャク (*Apochima praeacutaria*) はシャクガ科エダシャク亜科のガである。その分布域は本州、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島、沖縄本島、台湾となっている。インターネットで調べると、九州、対馬や四国高知県、徳島県などでの報告が散見される。しかし本誌ではキイロトゲエダシャクに関する報告は見当たらない。筆者はキイロトゲエダシャクを2020年4月1日に兵庫県姫路市山田町で採集したのでここに報告する。

採集場所は姫路市山田町南山田にある姫路市立藤ノ木山自然公園である。2020年4月1日午前8時半頃に当該公園を訪れたところ建物の壁に静止しているキイロトゲエダシャクを発見し採集した。図1および2はそれぞれその生態写真と展翅写真である。3月31日午後10時頃にも同公園を訪れたがその時はいなかったのその後飛来したものが翌朝まで残留していたものであろう。

キイロトゲエダシャクの食草は不明とされている。採集地の藤ノ木山公園は姫路市の東北端に位置し直ぐ東は加西市にまた北は神崎郡福崎町に接する位置にある。藤ノ木山の三角点は標高296mであるが採集場所の藤ノ木山自然公園はそれより下で標高は100m以下と思われる。



図1 姫路市山田町のキイロトゲエダシヤク♂の生態写真.



図2 姫路市山田町のキイロトゲエダシヤク♂ (開張 50mm).

○参考文献

井上寛他, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)

神戸市西区におけるアヤモクメキリガ幼虫の記録

池田健一

アヤモクメキリガ *Xylota fumosa* (Butler, 1878) は国内では北海道, 本州, 佐渡島, 四国, 九州, 国外では朝鮮半島, ロシア南東部に分布する種で, 一度に多数得られることはなく, やや得難い種とされ (四方, 2011), 兵庫県版レッドリスト 2012 では「要調査」(兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課, 2012), 神戸版レッドデータでも 2010 までは「要調査」となっていた (神戸市環境局環境創造部環境共生推進室, 2010). 兵庫県内では高島 (2001) の整理によると, 黒田庄町 (現在の西脇市), 姫路市, 御津町 (現在のたつの市), 相生市, 柏原町 (現在の丹波市), 南淡町 (現在の南あわじ市) で記録があり, 近年では加東市でも記録がある (徳平・高尾, 2013). 神戸市内では, 灘区摩耶山 (岡村, 1987), 須磨区須磨鉢伏山 (阪上ら, 2009), 北区藍那 (徳平ら, 2010) で記録がある. 幼虫は多食性である (四方, 2011).

古い記録ではあるが, 筆者は 2006 年 5 月 14 日 17 時ごろ, 神戸市西区伊川谷町井吹の畑にてネギ *Allium fistulosum* L. の花にいる本種幼虫を撮影したのでここに

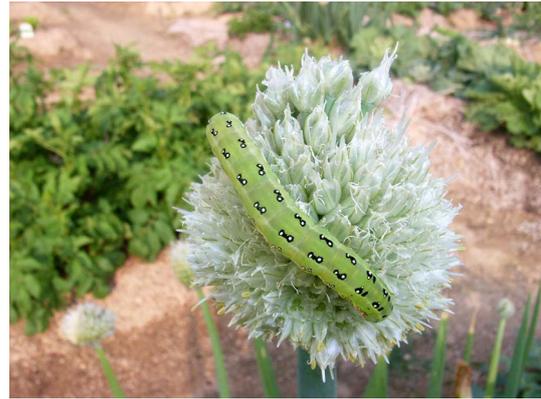


図1 ネギ花上のアヤモクメキリガ幼虫.

報告する (図 1). 撮影地は樹林に隣接して連続する畑がある平地である. ネギが本種幼虫の寄主植物であることは知られており (四方, 2011), 本報告も同様の事例と思われる. なお, インターネット上では 2005 年 5 月 8 日に神戸市西区でスイバ *Rumex acetosa* L. に現れたとされる記録もある (鈴木, 2018 最終更新).

○参考文献

兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課, 2012. 兵庫の貴重な自然: 兵庫県版レッドデータブック 2012 (昆虫類). <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/>

神戸市環境局環境創造部環境共生推進室, 2010. 神戸の希少な野生動植物 神戸版レッドデータ 2010. <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/19266/rdb2010.pdf>

岡村八郎, 1987. 神戸市摩耶山の蛾類採集目録. てんとうむし, 10: 37-45.

阪上洗多・船元祐亮・安達誠文・小西堯生, 2009. 須磨鉢伏山と有馬富士公園の興味深いキリガ. きべりはむし, 32(1): 49-51.

四方圭一郎, 2011. セダカモクメ亜科. 日本産蛾類標準図鑑 II, 学研教育出版: 305-307.

鈴木隆之, 2018 最終更新. みんなで作る日本産蛾類図鑑 V2 アヤモクメキリガ. [http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Hadeninae/Xylota\\_fumosa.html](http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Hadeninae/Xylota_fumosa.html)

高島昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科 (兵庫県産蛾類分布資料・20). きべりはむし, 29(1): 34-49.

徳平拓朗・堀内湧也・中安慎太郎, 2010. 神戸市北区藍那で採集された貴重な昆虫. きべりはむし, 32(2): 15-17.

徳平拓朗・高尾海星, 2013. 加東市で採集された注目すべき昆虫. きべりはむし, 35 (2): 24-27.

(Kenichi IKEDA 東京都狛江市)